

## 平成20年度第5回経営協議会議事録

日 時 平成21年3月23日(月)

開会 午後2時00分

閉会 午後3時49分

場 所 第1会議室

出席者 学長、高橋理事、佐々木理事、田牧副学長、青木副学長、石川事務局長、  
越膳委員、熊谷委員、永田委員、前委員、三上委員、山本委員

欠席者 大味委員

陪 席 土岐監事、高松監事

議事に先立ち、平成20年度第4回経営協議会議事録が異議なく確認された。

### 議 事

#### 1 平成21年度国立大学法人北見工業大学年度計画について

学長から、本件については、3月末日までに文部科学省に提出するもので、2月25日開催の教育研究評議会の議を経て提案する旨説明の後、別紙(資料1)に基づき、平成21年度の年度計画について説明があり、異議なく承認された。

#### 2 国立大学法人北見工業大学組織規則の一部を改正する規則(案)について

学長から、本学組織運営の見直しに伴う規程改正について提案する旨説明の後、総務課長から、別紙(資料2-1~2)に基づき、国立大学法人北見工業大学組織規則の一部を改正する規則(案)について説明があり、本日付で制定し、平成21年4月1日から施行することが異議なく承認された。

なお、関連する情報公開取扱要項ほか3件の規程の一部改正については、事務的に一括して処理することが併せて承認された。

#### 3 国立大学法人北見工業大学職員の労働時間、休憩、休日及び休暇等に関する規程等の一部を改正する規程(案)について

学長から、人事院規則、国家公務員の育児休業等に関する法律及び国家公務員退職手当法の一部改正に伴う本学関連規程の改正について提案する旨説明の後、総務課長から、別紙(資料3-1~8)に基づき説明があり、種々審議した。審議の結果、本規程等の改正については、過半数代表者及び教職員組合の了承を得ている旨の報告があり、国立大学法人北見工業大学職員の労働時間、休憩、休日及び休暇等に関する規程の一部を改正する規程(案)、国立大学法人北見工業大学職員の育児休業、介護休業等に関する規程の一部を改正する規程(案)、国立大学法人北見工業大学職員給与規程の一部を改正する規程(案)、

国立大学法人北見工業大学職員退職手当規程の一部を改正する規程(案)、国立大学法人北見工業大学職員再雇用規程の一部を改正する規程(案)、国立大学法人北見工業大学非常勤職員就業規則の一部を改正する規則(案)、国立大学法人北見工業大学職員研修規程の一部を改正する規程(案)を本日付で制定し、平成21年4月1日から施行することが異議なく承認された。

4 平成21年度学内予算配分について

財務課長から、平成21年度学内予算配分(案)について、別紙(資料4-1~3)に基づき説明があり、種々審議した。審議の結果、資料のとおり承認された。

なお、目的積立金の執行計画については、次回の経営協議会で報告することとした。

5 平成21年度資金運用について

財務課長から、平成21年度の資金運用計画について、別紙(資料5-1~3)に基づき説明があり、各金融機関に傾斜をかけて運用すること及び新たにJファンドを運用先に加えることが承認された。

6 その他 創立50周年記念事業について

永田委員から、創立50周年記念事業について意見交換したい旨発言があり、学長から本事業の大枠について説明があり、意見交換した。

報告事項

- 1 国立大学法人北見工業大学の中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について(資料6) (佐々木理事)
- 2 第二期中期目標・中期計画について(資料7) (高橋理事)
- 3 教職員の人事異動について(資料8) (学 長)
- 4 平成21年度経営協議会開催日について(資料9) (学 長)

次回経営協議会開催日 平成21年5月26日(火)午後2時開催予定

## 主な質問・意見

### 議題1 平成21年度年度計画について

- ・ 女性教員採用の10%とは大体どんなところか。(前委員)

### 議題3 職員の労働時間等の規程の一部を改正する規程(案)について

- ・ 1年間の勤務時間総数はどのくらいか。  
民間は、年間52週、2080時間で計算しているが、改正の意図は何か(永田委員)

### 議題4 平成21年度学内予算配分について

- ・ 一般人件費について、第一期の中期目標・計画で教職員の数をどのくらい減らす必要があるのか、また、減とした数はどのくらいか。(三上委員)

### 議題5 平成21年度資金運用について

- ・ Jファンドの運用先はどこか。(山本委員)

### 議題6 その他 50周年記念事業について

- ・ 50周年の募金活動について、目的を明確にしないと難しいのではないか。(越膳委員)

## 報告事項2 第二期中期目標・中期計画について

- ・ 博士後期課程の定員は増で考えているのか。(三上委員)
- ・ ドクターコースの定員割れが他大学で起きている中、北見工大が12人中10人というのは、大成功でないか。(前委員)
- ・ 前期課程(修士課程)も3専攻か。6専攻から3専攻に変わるのは、先が細るようになるのではないか。(三上委員)
- ・ 教員の組織と学生の組織でどのようになるのか、教員はどこに所属するのか。また、学部にも所属となると、大学院手当はどうなるのか、助教の先生の差が出てくるのではないか。(三上委員)
- ・ 今の景気で、学生の経済状況は悪化しているのか。(前委員)
- ・ グローバルな研究とローカルな研究のバランスについては難しいと思うが、ローカルなニーズに応える研究に力を入れていただくとともに、グローバルな面で医療工学を取り入れようとするのは良いことと思う。

知財戦略と研究戦略は車の両輪だと思うが、特許の出願はやたらするものではなく、戦略をたてて取れるものを出願するべきで、どういう分野を研究していけば取れるのかということを考えることから始めて欲しい。これを1つの検討課題として考えていただければ企業戦略につながるのではないか。(山本委員)